

# JR常磐線(東京・日暮里~宮城・岩沼)3月14日に全線再開 東京-仙台 直通 長距離特急「ひたち」も復活



◀▲「特急ひたち」試運転  
=鉄道チャンネル

▼新駅舎の建設が進むJR常磐線の夜ノ森駅周辺(17日午前、福島県富岡町)=共同

切符の購入時の利便性も高められる。いわき(福島県いわき市)ー浪江間など15駅で新たに

開、全線で復旧する。  
震災から9年、被災した全ての路線で運転が再開するはこびとなった。  
常磐線の全通にもない、品川・上野ー仙台間では特急「ひたち」を1日3往復運行する。所要時間は4時間半。いわきー仙台の途中停車駅は、広野、富岡、大野、双葉、浪江、原ノ町、相馬。上下とも最終便は巨理と岩沼にも停車する。  
また、地域の人が利用する普通列車は富岡ー浪江で普通列車が11往復、運転される。

常磐線の全通にもない、品川・上野ー仙台間では特急「ひたち」を1日3往復運行する。所要時間は4時間半。いわきー仙台の途中停車駅は、広野、富岡、大野、双葉、浪江、原ノ町、相馬。上下とも最終便は巨理と岩沼にも停車する。

常磐線路線図 (wikipediaほか)



…もし東日本大震災と福島第一原発事故がなければ、2012年のダイヤ改正でいわきで都内と仙台を結ぶ特急列車は分離され、いわきで乗り換えなければならない、ということになっていたはずである。その列車名の公募も行われていた。おそらく、その際には普通車だけの特急となり、グリーン車は連結されていなかっただろう。

品川・上野ー仙台間の特急「ひたち」はE657系を使用し、グリーン車も連結される。震災前と同じ、都心からの直通特急となっている。運行は3往復、6本。

停車駅を見ると、いわきー原ノ町間では全列車が広野・富岡・大野・双葉・浪江と停車する。都内や仙台と地域を結ぶために、停車駅を確保している。

地域に人が戻ってもらうため、福島第一原発事故からの復興を多くの人に見ってもらうために、これらの列車はこまめに停車する。…

(2020.1.27 Yahoo!ニュース 小林拓矢 抜粋は文責)

交通系ICカードの「Suica(スイカ)」が使えるようになる。無人駅になる富岡駅や浪江駅など5駅では、オペレーターと会話をしながら切符を買う指定席券売機をJR東日本として初めて導入する。有人窓口でしか買えなかった新年度の通学定期券などが、券売機で買えるようになるという。

we support ↓



MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう! 大作戦しんぶん」改め  
復興支援『すけさきた』  
かわらばん  
しんぶん

「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である

